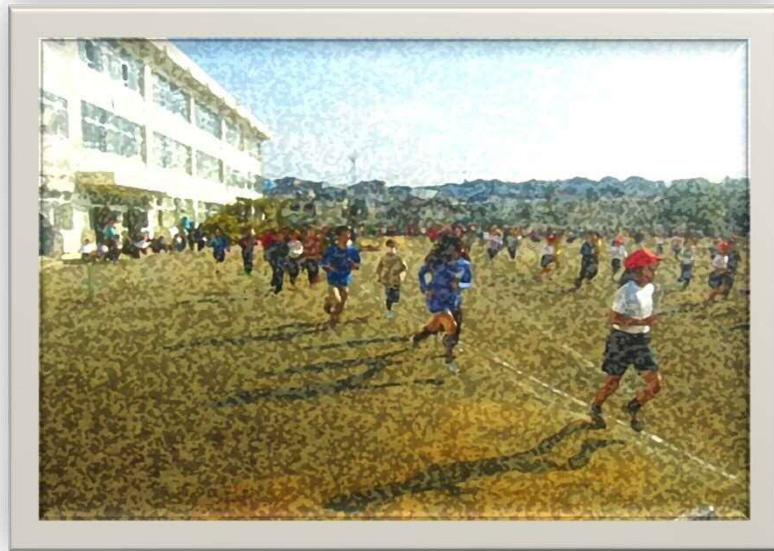


平成27年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立大谷小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)

国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《よかった所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる
- 話の内容に対する聞き方を工夫することができる
- 具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことができる

《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されてい漢字を正しく書く
- 文を構成する主語と述語との照応関係を捉える

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《よかった所》

- 目的や意図に応じ、新聞の割りつけをすることができる
- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができる
- 文章と図とを関係づけて、自分の考えを書くことができる

《努力を要する所》

- 場面の移り変わりに注意し、登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら読む

今後の具体的な取組

○読解力を育成する授業

- ・登場人物の行動や会話、情景などを基に、各場面の様子を的確に捉え、場面と場面を関係づけて読む指導をしていきます。
- ・文章を理解したり表現したりするときに、文の構成について強く意識できるように指導をしていきます。

○書くことに意欲がもてる授業

- ・発達段階に応じて、具体的で丁寧な記述の仕方について指導します。
- ・新出漢字を丁寧に書いて覚えたり、既習の漢字を意図的に復習したりすることができるよう計画的に指導していきます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《よかった所》

- 加法における計算の確かめの方法を理解している
- 繰り上がりのある加法計算を正確にすることができる
- 異分母の分数の加法の計算をすることができる
- 分度器を用いた角の測定方法を理解し、 180° より大きい角度を正しく測定をすることができる

《努力を要する所》

- 円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求める

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《よかった所》

- 図形の約束や性質を振り返り、図形を構成できる場合における辺の組み合わせを理解している
- 概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断について理解し、その判断の理由を数学的に表現することができる
- 算数の学習から見いだした考えを条件を変更した場面に適用し、問題を解決することができる

《努力を要する所》

- 示された情報から、基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求める
- 図形の性質を用いて、日常生活の事象を解決する

今後の具体的な取組

○思考力を高める授業

- ・割合における基準量の求め方を含め、計算の意味を理解することや計算の仕方を考えることについて、数学的な思考力を高められるよう指導方法を工夫していきます。
- ・図形の性質をよく理解した上で、それらを発展的な問題にも活用できるように指導していきます。

○表現力を高める授業

- ・示された情報を整理して筋道を立てて考えたり、言葉・数・式・図・表・グラフ等を適切に用いて、自分の考えを分かりやすく説明したりすることで、表現力を高められるよう指導していきます。
- ・1～6年生の実態に合わせた学習形態の工夫や授業で使わせたい算数的な表現、児童の言葉を生かした授業の展開・まとめ方を研究していきます。

理科に関する調査結果

《よかった所》

- エネルギーに関する問題では、振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書くことができる
- 水の温まり方では、結果を見通して、実験を構想することができる

《努力を要する所》

- 振り子の運動の規則性を的確に捉え、振り子時計の調整の仕方に適用する
- 植物の適した栽培場所について、植物の成長の様子と日光の当たり方を適用して考察する
- 星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析する

今後の具体的な取組

○観察・実験の充実

- ・観察、実験や自然体験、科学的な体験の充実を図るために、指導計画を見直し工夫していきます。
- ・児童が主体的に問題解決活動をすすめられるように、教材・教具を活用し、興味関心をもって取り組むことができるよう指導していきます。

○考える力をつける授業

- ・学んだことと日常生活との関連を図り、自然の事物・現象について実感を伴って理解できるように指導していきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 家庭での学習習慣
 - ・家庭で、授業の予習・復習に取り組んでいる児童が多い
 - ・平日に1日当たり1時間以上勉強をする児童が6割以上である
- 読み物等への興味・関心
 - ・読書好きな児童が多く、高い割合を示している
 - ・新聞やテレビ・インターネットのニュースに興味をもっている児童が多い

《課題と思われる所》

- 教科学力
 - ・国語、算数、理科の調査問題の解答時間が足りないと感じた児童の割合が高い
 - ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童の割合が少ない

生活について

《よかった所》

- 基本的生活習慣
 - ・9割以上の児童は毎日朝食を食べ、全く食べないと答えた児童はいない
 - ・9割以上の児童は毎日同じくらいの時刻に起きていると答えている
- 規範意識
 - ・学校のきまりを守ろうとする児童が多く、否定的な意識をもつ児童は少ない
 - ・9割以上の児童は、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えている

《課題と思われる所》

- 地域との関わり
 - ・地域のことを考えたり、行事に参加したりする児童が少ない傾向がある
 - ・地域で起こっている問題や出来事に関心がある児童の割合が少ない
- 余暇の過ごし方
 - ・1日にゲームをする時間が、2, 3時間以上の児童の割合が高い

今後の具体的な取組

- 生活において多くの望ましい行動や態度がみられることは、本校児童の大きな特長です。このことは、ご家庭の養育が大きく影響していると考えられますが、学校においても、児童一人ひとりを理解し、励ましと称賛を与えながら、よい体験が積み重ねていけるよう指導・支援に努めます。
- 本校では、現在、算数の授業研究に全校で取り組んでいます。研究では、言語活動を重視し、言葉、文章、図、式で表現することを通して、思考力・表現力を高め、ていくことを追究しています。今後も、思考を伝え合う楽しさを実感させながら、言語活動の指導をすすめます。
- 児童と地域との関わりについては、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深めることが大切です。本校としては、総合的な学習の時間等で、今後も多くの地域の方々のご支援をいただきながら学習をすすめていきます。

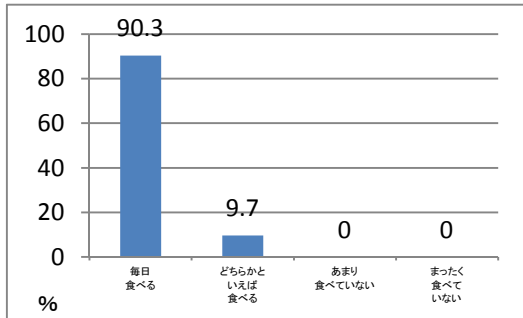
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果より、ご家庭で取り組んでいただきたいことをまとめました。この中には、よい傾向のものもありますが、今後も続けて取組をお願いします。

1 しっかりした生活習慣を身につけましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけ、しっかりした生活リズムをつくりましょう

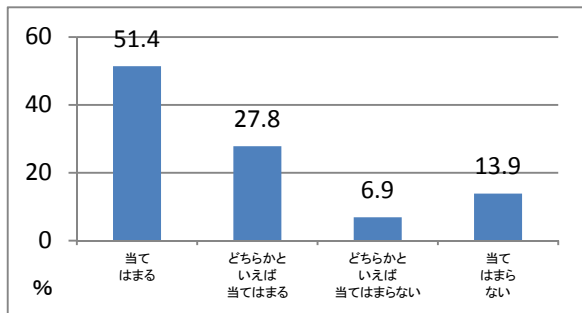
朝食を毎日食べていますか



3 たくさん、いろいろな本を読みましょう。

図書館へ行くなど、多くの本に触れる機会をつくり、家族みんなで本に親しみましょう

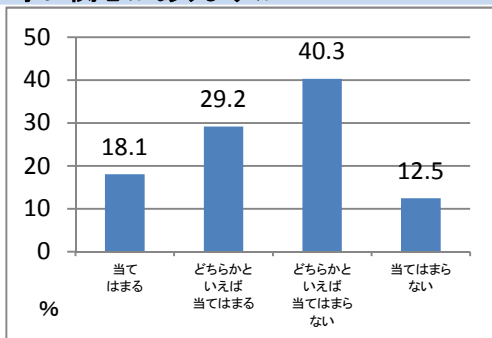
読書は好きですか



5 地域や社会の出来事に関心をもちましょう。

地域の行事には、行くことを勧めたり、家族で足を運ぶなど、積極的に参加しましょう

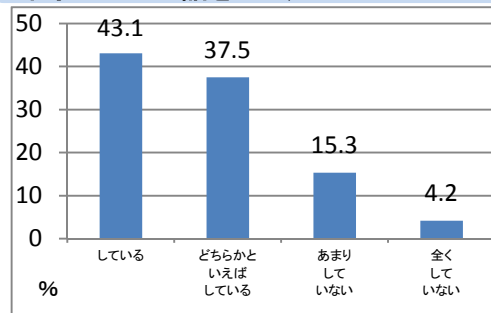
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



2 コミュニケーションを大切にしましょう。

お子さんとたくさんお話をする時間をつくり、家族の絆を育みましょう

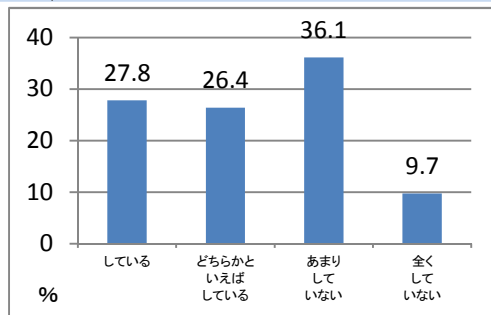
家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか



4 家庭学習に取り組みましょう。

毎日、一定の時間【めやす:10分×学年】、宿題や自主的な学習をする習慣をつけましょう

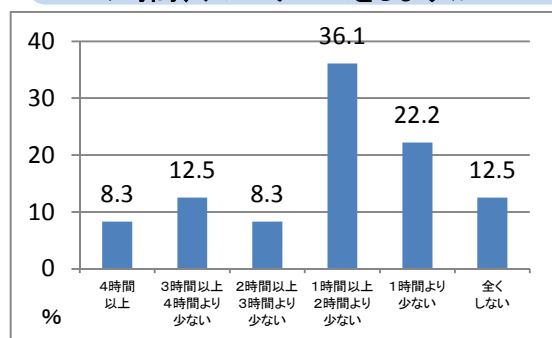
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



6 長時間のテレビやテレビゲームはやめましょう。

テレビを見たり、テレビゲームをしたりするときは、時間とルールを決めましょう

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成27年11月